

第4編

連携大学の取り組み

1. 新潟大学における平成21年度事業報告

1-1 学生登録者状況

腫瘍放射線医学：6名

呼吸器内科学または血液学：11名

1-2 講義開講状況

新潟大学大学院医歯学総合研究所では、平成21年度がんプロフェッショナル養成コースにおいて以下の講義が開講された。

日時	曜日	大項目	項目	講義内容	講師	講師所属
平成 22年 1月8日	(金)	がんの基礎と 疫学	がんの生物学	発がんの基本プロセス 発癌の要因（化学的、物理的、生物学的、 遺伝的） 変異と修復 発癌のプロセス（initiation, promotion, progression） 癌細胞の特徴 自立性増殖、 接触阻止能の喪失、 細胞の不死化、 足場非依存性増殖、 造腫瘍性、 可移植性	木南 凌	生化学第一
平成 22年 1月15日	(金)			がん遺伝子、治療標的タンパク質 増殖因子と細胞内伝達経路 がん関連遺伝子（がん遺伝子、がん制御遺 伝子、細胞接着関連遺伝子） 遺伝子の制御（ジェネティクス、エピジェ ネティクス） がん抑制遺伝子と細胞周期、発がんによる その制御と治療との関連 G1block、G2block Rb、サイクリン、CDK p21、p16、p27	若林 雄一	遺伝機構学 研究室
平成 22年 1月18日	(月)			腫瘍細胞の動態、細胞死と細胞増殖のバラ ンス アポトーシス、ネクローシス、 感染と慢性炎症 血管新生と転移 幹細胞、分化およびがん幹細胞、 stem cell からの分化、分裂寿命、老化、増 殖因子、接触阻止	藤井 雅寛	ウイルス学

日時	曜日	大項目	項目	講義内容	講師	講師所属
平成 22年 1月19日	(火)	がんの基礎と 疫学	がんの生物学	PCR法、染色体分析などの基盤的分子生物学的・細胞生物学的手法 PCR (PCR-SSCP、RT-PCR等を含む) 染色体分染法 (FISH、CGHを含む) マイクロアレイ	藤井 雅寛	ウイルス学
平成 22年 1月22日	(金)		がんの発生、 疫学、スク リーニング、 発がん予防	発がんにおける遺伝学的要因と環境因子：ホルモン、栄養	中村 和利 土屋 康雄	衛生学
平成 22年 1月25日	(月)		統計を含む臨 床研究	統計学の基礎 統計学的手法 研究デザインに必要な患者数 適切なデータの解釈	赤澤 宏平	医療情報部
平成 22年 1月26日	(火)			臨床試験デザイン、第I、II、III相臨床試験 試験デザインに関する倫理・規制・法的問題の概要 治療の効果を規定する基準 quality of life (QOL) の評価方法 毒性の評価とグレード分類	田邊 直仁	公衆衛生学
平成 22年 1月27日	(水)		がんの発生、 疫学、スク リーニング、 発がん予防	がんの疫学、がん登録	田邊 直仁	公衆衛生学
平成 22年 1月29日	(金)			がんのスクリーニングとリスク管理、それに用いられる試験・検査の方法、および検出感度、感受性、特異性と対費用効果、遺伝子スクリーニングおよび遺伝カウンセリングの原理と適応	中田 光	生命科学医療センター
平成 22年 2月1日	(月)		悪性腫瘍の病 理診断	がんの病理学診断 病理組織学的診断と細胞診 治療効果の病理組織的診断	味岡 洋一	病理学第一
平成 22年 2月2日	(火)			腫瘍マーカー	青柳 豊	内科学第三
平成 22年 2月3日	(水)		腫瘍免疫学	免疫機構を担う細胞・液性成分および免疫システムにおけるサイトカインの制御機構 サイトカインによる細胞障害性などを含めた免疫機構における腫瘍と宿主との相互関係 がんによる免疫抑制 腫瘍抗原性、免疫関与による抗腫瘍効果 ヒト癌抗原、がんに対する免疫療法（がんワクチン、リンパ球輸液療法、モノクローナル抗体療法）	八幡 哲郎	産科婦人科学
平成 22年 2月5日	(金)		統計を含む臨 床研究	臨床試験審査委員会 (Institutional Review Board: IRB) 倫理委員会の役割および機能 サーベイランスに関する政府の規制基準 がん治療と倫理	中田 光	生命科学医療センター

17:30～19:00 302 共同集会室（第3講義室横）

2. 明治薬科大学における平成21年度事業報告

2-1 本コース登録者状況

○平成21年度 明治薬科大学大学院薬学研究科臨床薬学専攻
博士課程（前期）がんプロフェSSIONALコース学生 5名

○平成21年度 順天堂大学インテンシブ・コース登録者 薬剤師（大学院生および講師）17名

2-2 学生募集状況

平成21年度入学試験、入学者数等について

○平成21年度入学試験 博士課程（前期）

平成20年6月21日、8月19・20日、11月1日実施

がんプロフェSSIONALコース志願者 9名

同 コース合格者 5名

同 コース入学者 5名

○平成21年度入学試験 博士課程（後期）

平成21年2月14日、8月22日実施

がんプロフェSSIONALコース志願者 0名

2-3 大学院教育の進捗状況

平成21年度開講授業、参加者数等について

○平成21年度明治薬科大学大学院『臨床薬学特論』講義

平成21年9月1日～平成22年1月25日開講

（38科目、66日間（1日2コマ、18：30～21：00）開講）

参加者数 延べ2,200余名（現在開講中につき、実績＋予定者数）

（内訳：本学がんプロフェSSIONALコースを含む大学院生 1,700強、

科目等履修生 100弱、その他の受講生等 400強）

○平成21年度順天堂大学インテンシブ・コース

明治薬科大学からの参加者数

がんプロフェSSIONALコース学生 延べ146名

それ以外の大学院生 延べ159名

○第2回チーム医療合宿参加者数

がんプロフェSSIONALコース学生5名を含む7名

2-4 公開講座等の実施状況

開催概要（チラシ等）、テープ起こし、アンケート集計等

○実施なし

2-5 次年度事業計画案

来年度開講予定授業、開催予定シンポジウム等について

○大学院『臨床薬学特論』講義は平成21年度をもって終了し、平成22年度以後は開講予定なし

○シンポジウム等については、開催を検討する

2-6 その他

○薬学教育6年制の実施に伴い

大学院臨床薬学専攻博士課程（前期）は、平成21年度をもって募集停止しました。

平成23年度まで（旧課程の）臨床薬学専攻博士課程（後期）の学生募集を行ないますが、

平成24年度入試から、6年制薬学科のうえの4年生博士課程の募集を行なう予定です。

（設置届出（場合によっては認可申請）を予定）

3. 東京理科大学における平成21年度事業報告

3-1 学生募集状況と入学状況

【学生募集】

- ・平成21年度薬学研究科博士後期課程入学試験…平成21年3月2日（月）口頭試問実施
- ・平成21年度薬学研究科薬学専攻修士課程がんプロフェッショナル部門
…平成21年2月20日（金）口頭試問実施

【入学状況】

- ・修士1年 6名

3-2 大学院教育の進捗状況

(1) 履修状況について

平成21年度 がんプロフェッショナル分野科目別履修者人数

H21.1.7 作成

科目名	必修／ 選択の別	履修者数						合計
		がんプロフェッショナル 分野所属院生			左記以外			
		1年	2年	計	1年	2年	計	
コア実地修練（チーム医療）	必修	6	0	6	0	0	0	6
がんプロフェッショナル特論1	選択必修	5	1	6	13	4	17	23
がんプロフェッショナル特論2	選択必修	5	0	5	3	0	3	8
がんプロフェッショナル特論3	選択必修	3	1	4	1	4	5	9
がんプロフェッショナル実務研修1 (病院)	選択必修	0	0	0	0	0	0	0

(2) チーム医療合宿の参加状況

平成21年9月12日に行われたチーム医療合宿に、本学がんプロフェッショナル部門の学生6名（修士1年：5名、博士後期課程2年：1名）および教員2名が参加した。

3-3 公開講座等の実施状況

平成21年度の実施：なし

理由：医療系の教員が薬学6年制への移行業務で多忙であったため。

3-4 次年度事業計画（案）

(1) がんプロ1の実務実習

生物顕微鏡と顕微鏡用デジタルカメラを購入し、実習を充実させていきたい。

(2) MD アンダーソンへの研修

がんチーム医療見学研修（教員1名）を本年度に引き続き行い、チーム医療合宿での貢献度を高めていきたい。

4. 立教大学における平成21年度事業報告

4-1 学生募集状況（平成21年度入学試験、入学者数等について）

立教大学理学研究科博士課程前期課程

実施時期：夏季入試 2008年7月13日、春季入試 2009年2月20日

定員：物理学専攻20名 化学専攻20名 数学専攻5名 生命理学専攻15名

入学者：物理学)16名 化学)18名 数学)4名 生命理学)10名

4-2 大学院教育の進捗状況（平成21年度開講授業、参加者数等について）

【各コースの教育課程】

医学物理士養成プログラム：2009年度2名（2008年度1名）

インテンシブ（医学物理士・基礎）研修コース：2名（全員修了：修了証／履修証明書交付）

(1) コメディカル(医学物理士)コース

●シラバス

<必修科目（10単位）>

医学概論（2単位）履修登録者3名

放射線計測特論（2単位）履修登録者6名

放射線物理学（2単位）履修登録者5名

電子工学特論（2単位）履修登録者6名

放射線計測演習（1単位）履修登録者1名

インターンシップ（1単位）履修登録者0名

<選択必修A（4単位）：関連基礎科目>

原子核特論（2単位）履修登録者6名

宇宙放射線特論（2単位）履修登録者4名

原子核物理学（2単位）履修登録者6名

原子・分子物理学（2単位）履修登録者5名

原子・分子物理特論（2単位）2009年度休講

<選択必修B（4単位）：医療物理関係科目>

放射線生物学特論（2単位）履修登録者4名

情報処理学（2単位）履修登録者3名

放射線治療物理学（2単位）履修登録者2名

(2) インテンシブ(医学物理士・基礎)研修コース

●シラバス

放射線医療物理学 1 履修登録者 10 名

放射線医療物理学 2 履修登録者 8 名

放射線医療物理学 3 履修登録者 6 名

放射線医療物理学演習 履修登録者 6 名

4-3 公開講座等の実施状況

(開催概要(チラシ等)、テープ起こし、アンケート集計等)

(1) 医学物理士養成プログラム説明会

日時：2009年7月10日(金) 16:30～18:00／懇親会 18:00～20:00

場所：立教大学4号館4階4404教室 参加者：約35名

講師：小澤修一(助教) 「がんプロフェッショナル養成プランと医学物理士認定制度」

川嶋基敬氏 「医学物理士への道」

(2) インテンシブ(医学物理士・基礎)研修コース交流会

日時：2009年8月7日(金) 17:30～19:30

講演会「医学物理士の現状について」順天堂大学 唐澤久美子(先任准教授)

4-4 次年度事業計画案

(来年度開講予定授業、開催予定シンポジウム等について)

●基本的には2009年度事業計画の踏襲。

●受講料の変更：

2010年度は科目等履修生(医学物理士)の受講料は7万円→8万円の値上げ。

(2009年度から放射線医療物理学演習が1単位から2単位になったことによる。)

●インターンシップの準備：

2010年度はインターンシップ受講生が出る見込み。立教側と順天堂側で受け入れ態勢を協議中。土曜午後数回を使って集中的に行うことを検討。詳細は今後詰めていく。

4-5 その他(報告事項)

●順天堂大学医学研究科と立教大学理学研究科との間における学生交流 2009年10月21日施行

●履修証明証制度 適用

履修証明制度として本学でインテンシブ(医学物理士・基礎)研修コース履修者が初の適用となった。

(部長会2009年度10月29日)

- 札幌医科大からインテンシブ（医学物理士・基礎）研修コースの講義「放射線医療物理学 1」（檜枝先生）を収録し配信の依頼あり。（本学の経常予算で収録）
→ 札幌医科大の事務的問題により中断